

KYFA 堺整形外科杯2026 第41回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会要項
(兼第41回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会九州地区予選
兼2026JCY インターシティ トリムカップ(U-15)九州地区予選)

1. 主 旨 日本を将来を担うユース年代のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、クラブチーム(U-15)の普及と発展を目的とし、各団体の協力を得て、九州クラブユースサッカー連盟登録チームが参加する大会として実施する。
2. 名 称 KYFA 堺整形外科杯2026 第41回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会
(兼第41回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会九州地区予選
兼2026JCYインターシティ トリムカップ(U-15)九州地区予選)
3. 主 催 (一社)九州サッカー協会、九州クラブユースサッカー連盟
4. 主 管 九州各県サッカー協会、九州各県クラブユースサッカー連盟
5. 後援(申請中) 福岡県教育委員会、佐賀県教育委員会、長崎県教育委員会、熊本県教育委員会、
大分県教育委員会、宮崎県教育委員会、鹿児島県教育委員会
6. 特別協賛 医療法人 堺整形外科医院 福岡スポーツクリニック
7. 協 賛 (株)共同写真企画、株式会社モルテン、ヒデシマ PHOTO
8. メディアパートナー 株式会社グリーンカード
9. 日 程 2026年 6月20日(土) 1 回戦
6月21日(日) 2 回戦
6月27日(土) 代表決定戦
6月28日(日) 予備日
10. 会 場 グローバルアリーナフィールド A・B(福岡県)、ブラックモンブランフットボールセンター南・北、
SAGA サンライズパークボールフィールド南・北(佐賀県)
島原市営平成町人工芝 G 山側・海側(長崎県)
COSMOS 熊本県フットボールセンター東・西(熊本県)、
大分県サッカー協会人工芝グラウンド、南部スポーツ交流ひろば(大分県)
新富町フットボールセンター東・西(宮崎県)、鹿児島県立サッカー・ラグビー場 A・C(鹿児島県)
福岡フットボールセン
11. 出場チーム 1)各県予選を勝ち上がった37チーム
各県出場枠:福岡県10、佐賀県2、長崎県4、熊本県5、大分県4、宮崎県4、鹿児島県5、
沖縄県3(2025年度登録チーム数にて算出)。
2)九州ユース(U-15)サッカーリーグ参加クラブ全17(1部9、2部8)チーム。
3)九州沖縄ユース(U-15)サッカーリーグ上位クラブ2チーム。
12. 出場資格 (公財)日本サッカー協会に第3種加盟登録し、なお且つ(一財)日本クラブユースサッカー連盟
に2026年5月8日(金)までに加盟登録したチームであること。
1)出場選手は他のクラブチーム及び中学校サッカー部などに二重登録されていないこと。
2)2011年(平成23年)4月2日以降の出生者を対象者とする。
3)出場チームは15名以上の選手でチーム構成され、うち7名以上は(公財)日本サッカー協

会第3種加盟登録選手であり、なお且つ2011年4月2日から2014年4月1日までの出生者を対象とする。(5名以上は試合出場していること)

4) 出場チームの同一下部組織第4種(JFAクラブ申請済みクラブ)登録選手に限り、種別変更(移籍)せず第4種登録選手のままの出場を認める。但し、同一下部組織第4種登録チームを複数所有しているチームの選手登用は、いずれかの1チームからに限定するものとする。

5) 各チームの登録選手は、原則として(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参しなければならない。ただし、写真貼付により、顔の認識ができるものであること。

※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。

6) 予選から本大会にいたるまでに1つのチームで大会メンバーに登録した選手は、異なるチームへの移籍後再び大会メンバーに登録することはできない。

尚、県内大会で予選名が付されていない場合であっても、その大会が実質的に予選を兼ねている場合は、その大会は予選と同じ扱いとなり上記を適用する。

13. 表彰 代表7チームに代表楯、賞状、授与する。

14. その他 1) 本大会の上位7チームは、8月14日～24日まで北海道札幌市近郊にて開催される「第41回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会」へ九州クラブユースサッカー連盟代表として参加する権利と義務を有する。

尚、7月8日(水)に開催される監督会議には必ずチームスタッフが出席すること。

(欠席は不可)。

また、出場チームは7月1(水)13時までに申込書類を提出のこと。

2) 各ブロックの2位のうち上位4チームは、8月7日～10日まで山梨県河口湖にて開催される「2026JCY インターシティトリムカップ(U-15)へ九州クラブユースサッカー連盟代表として参加する権利と義務を有する。上位4チームの決定方法は常任理事会(当該県理事含む)によるフリー抽選とする。抽選は6月28日(日)19時から行い、出場チームを決定する。

KYFA 堺整形外科杯2026 第41回九州クラブユース(U-15)サッカー選手権大会規程
(兼第41回日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会九州地区予選
兼2026JCY インターシティ トリムカップ(U-15)九州地区予選)

■競技方法

- 1) 試合方式は56チームを7ブロックに分け、各ブロック8チームのトーナメント方式とする。
- 2) ルールは(公財)日本サッカー協会発行「サッカー競技規則2025/2026」による。
- 3) 試合時間は、すべて70分ゲーム(ハーフタイム10分)とする。
- 4) 勝敗が決しないときはPK戦方式により勝敗を決定する。
- 5) 警告・退場
 - ①大会期間中、警告の累積が2回になった選手は次の1試合に出場できない。退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できない。
 - ②本大会は、(公財)日本サッカー協会が定める懲罰規程に基づき本大会に係る懲罰問題を処理するため、大会規律委員会を設置する。本大会において退場を命じられた選手等は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については本大会規律委員会において決定する
- 6) メンバー表は試合開始60分前までに大会システムに登録し、交代はメンバー表の登録選手の中より7名を認める。尚、各試合の登録後、試合開始までの時間に、ケガなど特別な理由により登録された選手が当該試合へ出場することが不可能であると、当該試合競技責任者が判断した場合のみ、エントリー内容を変更することができる。
- 7) 選手の用具・ユニフォームチェックについて
 - ①ユニフォームは、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。
 - ②本競技会に登録した正・副2組のユニフォーム(シャツ、ショーツ及びソックス)を試合会場に持参し、いずれかを着用しなければならない。
 - ③正・副の2色については明確に異なる色とする。(GKはFPと色彩の異なる正・副2セット)
 - ④試合開始60分前に、本部においてユニフォームチェックを行う。その際、ユニフォームは正・副の両方を用意すること。
 - ⑤ユニフォームの前面・背面には大会エントリー時に登録された選手固有の番号をつけること(GKを含む)。また、ショーツ番号については付けることが望ましい。尚、ユニフォームの色・選手番号の大会エントリー以降の変更は認めない。
 - ⑥ソックスの上にテープを巻く場合、そのテープ等の色はソックスの色と同じものに限る。
 - ⑦アームバンドについては連盟が認めたものは使用可とする。表示はCとメーカーロゴ(50cm以下)は認める。
 - ⑧Jクラブ傘下のチームについては、公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)のユニフォーム要項に認められたユニフォームであれば使用を認められる。ただし、Jリーグ傘下クラブについてもシャツの前面・背面に大会エントリー時に登録された選手固有の番号を付けること(GKも含む)。また、アルコール等未成年チームにふさわしくない広告は認められない。
- 8) ユニフォームに表示する広告は、(公財)日本サッカー協会「ユニフォーム規程」に則る。
- 9) 各チームの登録選手について、写真付き選手証の不携帯若しくは選手証に写真を貼っていない場合は、出場を認めない。

※選手証とは、JFAのWEB登録システム「KICKOFF」から出力した選手証・登録選手一覧を印刷したものを原則とする。
- 10) 参加資格の違反、不都合な行為があった場合の処置については、大会規律委員会にて決定する。
- 11) チームスタッフ及び選手の登録はスタッフ7名以内、選手は15名以上30名以内とし、エントリー締め切り(6月5日13:00)以降の選手、スタッフの追加、変更は認められない。
- 12) 選手交代回数の制限について
 - ①試合中の交代回数は3回までとする。(1回に複数人を交代することは可能)
 - ②ハーフタイムでの選手交代は回数に含まれない。

13) 脳振盪による交代(再出場なし)について

- ①脳振盪またはその疑いのある選手の交代(以下「脳振盪交代」という)通常交代に含まれない。
- ②脳振盪交代は、通常交代と判別できる、別途指定する手続きで行われなければならない。
- ③脳振盪交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および脳振盪交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- ④脳振盪交代をした場合、相手チームは通常交代とは別に、1名1回の交代を得ることができる。(以下、本号に基づく交代を「追加交代」という。但し、追加交代と通常交代を同時に行った場合、通常交代および追加交代の交代回数をそれぞれ1回としてカウントするものとする。
- ⑤1試合における各チームの脳震盪交代および追加交代の交代人数は、それぞれ1名とする

14) 暑熱対策について

- ①試合開始10分前の測定で、WBGT31℃以上の場合は熱中症対策(Cooling Break)を行った上で実施する。

15) 雷・荒天等不可抗力による中断・中止について

- ①試合前及び試合中に、落雷の発生並びに発生の可能性がある場合は、当該試合の審判員の判断により即座に試合を中断する。但し、これについて大会本部(競技責任者他)が助言できるものとする。
- ②その後、雷活動(雷鳴、雷光)が収まった場合は20～30分後を目安に再開する。
- ③再開または中止する場合は、次の通りとする。
 - ・前半戦途中で中断した場合は、中断時の状態(選手は中断時の選手)から残り時間を再開する。
 - ・前半が終了している場合および後半戦途中で中断した場合は、試合再開を行わず、中断時の結果により勝敗を決する。なお、同点の場合は抽選とする。
 - ・荒天等で試合の開催が困難な場合は、原則として抽選にて勝敗を決定する。
 - ・荒天等により締め切り期日までに全国大会の出場チームを選出できない場合は、抽選により決定する。尚、その場合の抽選方法については常任理事会にて決定する。
 - ・荒天等により大会が中止になった場合、原則として大会負担金は返金しないものとする。

16) 負担金

- ① 50,000円
- ②負担金は、各県連盟事務局が取りまとめて6月5日(金)までに下記に振り込みのこと。

九州クラブユースサッカー連盟 理事長 河原忠明
福岡銀行 筑紫支店 普通預金 NO.0631361

17) 組合せ

- ①代表者会議にてWEB抽選を行い決定する。
- ②期日 2026年5月31日(日)19:00～
- ③会場 テレビ会議システム(Zoom)

18) 申し込み

出場チームは、5月31日(日)にWEBにて開催される大会運営システム講習会(別途案内参照)へ参加し、その後、6月5日(金)までにシステムにて申込の申請を行うこと。

19) その他

- ①試合球は adidas 社製「コネクト 26 プロ ADF530」とし、1ピッチ最低2球を配置する
- ②ベンチへの入場は、事前に登録されたスタッフ5名、選手30名以内とし、それ以外は入れない
- ③チームベンチは、会場本部席からピッチに向かって左側ベンチを組合せの左側に表記されているチームとし、対戦チームを右側とする。
- ④登録選手は必ず全員が傷害保険に加入していること。
- ⑤試合会場での応急措置は主催者側で行うが、それ以降はチームにて処置すること。
- ⑥大会要項及び規程に規定されていない事項については、常任理事会において協議の上、決定する。
- ⑦副審は1回戦まで帯同審判(3級以上)とする。
- ⑧開会式は行わない。表彰式は最終日の試合終了後に行う。

⑨試合開始60分前に本部役員・審判員および両チームの「監督」または「ベンチスタッフ」によるマッチコーディネーションミーティングを行う。

⑩九州ユース(U-15)サッカーリーグおよび九州沖縄ユース(U-15)サッカーリーグの順位は、U-15リーグ事務局からの結果報告書の順位とする。

■競技上の注意事項(補足)

1. ベンチ内での態度

1) 試合中、その都度ただ一人の役員のみがテクニカルエリアに出て競技者に戦術的指示を伝えることができる。着席しているスタッフからの戦術的指示は出来ない。

2. 競技中負傷した選手の処置と復帰

- 1) 選手がフィールド内で治療を受けることは許されない。ただし、ゴールキーパーの負傷、ゴールキーパーとフィールドプレーヤーが衝突し即座に治療が必要なとき、同じチームの競技者が衝突し即座に治療が必要なとき、更に重症と判断されたときは除く。
- 2) 主審がチームスタッフ2名の入場を許可した場合、負傷の程度を見ることがと負傷者の搬出を手配することのための入場となる。負傷した選手は、担架あるいは自分でフィールドから離れなければならない。
- 3) ドクターバッグはフィールド内に持ち込むことができない。
- 4) 負傷してフィールドから離れた選手は、試合が再開された後にのみフィールドに復帰できる。
- 5) 主審のみが負傷した選手のフィールドへの復帰を認めることができる。

3. 選手確認

競技者の選手証の確認は、試合 60 分前のミーティング終了から試合開始 15 分前までに競技責任者によって会場本部前にて行う。大会エントリーをした選手の写真付き電子選手証一覧は、常に提示できるように携帯して本部又はピッチ本部前に整列すること。

※電子選手証は、印刷したもの、スマートフォンや PC 等の画面表示したものを示す。

4. ベンチ(選手席)

- 1) ベンチ脇でビデオ撮影は認めない。撮影場所については、ピッチレベル外とし、各会場の競技責任者に事前確認のこと。
- 2) 登録した選手・スタッフがベンチ外でビデオ撮影等を行う場合、その選手・スタッフは試合終了 までベンチには戻ることが出来ない。
- 3) チーム役員によるあらゆる形式の電子通信機器の使用は、競技者の保護や安全に直接関係する場合、あるいは、戦術的またはコーチングの目的であれば用いることが認められる。但し、電子通信機器に付帯しているものによるものも含めてテクニカルエリア内(ベンチを含む)において は、いかなる撮影(写真、ビデオ)も認められない。

5. ペナルティーマークからのキックについて

- 1) ペナルティーマークからのキックにより次回戦への進出を決定する場合には、主審の指示により 1 分以内であればスタッフ 1 人の入場を認める。その際、飲み物、薬品、衣類などの持ち込みは認めない。なお、ベンチ前のフィールド内で飲水することができる。
- 2) ペナルティーマークからキックを行う人数は、選手数の少ない方に合わせる。
- 3) インターバルは3分とする。

6. その他

1) 荒天時の対応について

当日6:00の時点で荒天(雨・雪等)の場合、7:00に中止もしくは延期を決定し、連盟公式大会サイトへアップをする。当日現地判断で中止の場合もあり得る。